

NAHA  
GIANT TUG OF WAR  
FESTIVAL  
2022

第52回

# 那覇大綱挽まつり

TSUNA フェス 2022

## 市民演芸・伝統芸能 ステージ



日時 10月9日(日) 14:00~16:00

場所 てんぶす那覇前広場ステージ

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止

今年の大綱挽は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、事前登録制となっているため、当日の飛込参加はできません。

会場内でのマスク着用



会場内では必ずマスクを着用してください。

手洗い・消毒の実施



こまめな手洗い・消毒  
咳エチケットにご協力ください。

一定距離の確保



不要な回遊は控え、  
移動時は人との距離を  
確保してください。

体調の管理



体調に変異があった場合は  
無理せず  
ご帰宅ください。

### 開催場所地図

てんぶす那覇前広場ステージ

下記QRより開催場所の地図が確認できます。  
お手持ちのスマートフォンにて読み込みください。

てんぶす  
広場



## 開催スケジュール

14:00よりスタート

- 演目1 那覇市文化協会 古典音楽部会
- 演目2 那覇市文化協会 日本舞踊部会
- 演目3 那覇市文化協会 新舞踊部会
- 演目4 那覇市文化協会  
ハワイアンカルチャー部会
- 演目5 津波古棒術保存会
- 演目6 沖縄県立芸術大学  
琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース
- 演目7 沖縄県立芸術大学  
琉球芸能専攻 琉球古典音楽コース
- 演目8 石嶺町伝統エイサー会

16:00全演目終了予定

※場合により予定が急遽変更になる場合がございますのでご了承ください。

## 琉球舞踊

演目1



## 那覇市文化協会 古典芸能部会

演目 綱挽口説(つなひきくどうち)、貴花(ぬちばな)

『綱挽口説』那覇大綱挽まつりに相応しい綱挽口説をお届けします。綱挽の情景を琉球音楽に乗せた創作舞踊です。『貴花』“一緒に花を摘みに行きましょう、花が露で摘めない、川に流れる桜の花をすくって糸につなぎ貴方にかけてあげたい”琉球舞踊雑踊り(そうおどり)の中でも代表的な舞踊です。

## 日本舞踊

演目2



## 那覇市文化協会 日本舞踊部会

演目 河内男節(かわちおとこぶし)

那覇大綱挽まつりの開催を楽しみに部会活動を頑張ってきました。一日も早く新型コロナウイルスが終息するようお願いを込めて、祭りの定番「河内男節」を部会員が景気良く精一杯踊ります。

## 舞踊

演目3



## 那覇市文化協会 新舞踊部会

演目 いきいき音頭

お金も名誉も無い無いづくし ひとつあるのは「仲間だよ」皆で楽しく踊ろうじゃないかさあさあ元気が出る出る いきいき音頭 会場の皆さんも、手拍子、足拍子と一緒に踊りましょう!

## ハワイアン

演目4



## 那覇市文化協会 ハワイアンカルチャー部会

演目 ハレアカラーフラ他

まず、マウイ島で一番美しい山、ハレアカラーの雄大な姿とそこに降る雨や風をプイリという竹の楽器を使って踊ります。二曲目は、ワイキキの伝統あるホテル、別名「ピンクパレス」とも呼ばれているロイヤルハワイアンホテルを赤い羽根が鮮やかなウリウリという楽器を使って踊ります。

## 棒術

演目5



## 津波古棒術保存会

演目 津波古の棒術

津波古の棒術は、歌三線にのせて演ずるメーカタ(舞方)にはじまり、打ちならすドラに合わせて演ずる一人棒、二人棒、三人棒、四人棒、五人棒の組棒があります。特に四人棒、五人棒は津波古独特の棒術となっております。

## 琉球舞踊

演目6



## 沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

演目 四つ竹、上り口説、鳩間節

紅型衣裳を身につけ、花笠をかぶり、音を打ち鳴らしながら優雅に踊られる「四つ竹」。首里城从那覇港までの道中と人々の様子、那覇港から薩摩の山川港までの光景を描いた「上り口説」。八重山諸島・鳩間島の風景と五穀豊稔を予祝した歌詞で歌われ、テンポの早い軽快な振付に仕上げられた雑踊り「鳩間節」を披露いたします。

## 琉球古典音楽

演目7



## 沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻 琉球古典音楽コース

演目 かぎやで風節、恩納節、辺野喜節

琉球王国の御前で演奏された「御前風(くじんふう)」五曲の一つである「かぎやで風節」と「恩納節」。イジュの花の美しさを詠んだ「辺野喜節(びぬちぶし)」も披露いたします。「御前風」には国家の繁栄、五穀豊稔、子孫繁栄、航海安全などの願いが込められています。

## エイサー

演目8



## 石嶺町伝統エイサー会

演目 石嶺町伝統エイサー

石嶺町伝統エイサーは、町内で130年以上前から続く手踊り念仏エイサーで、空手の型が基本となっています。今回の演舞は、20年ほど前に創作した太鼓エイサー3曲と手踊りの伝統エイサー4曲で構成します。